

ジェンダー化された帝国日本の周縁

インターセクショナル리티の視座から

インターセクショナル리티の視点が切り拓く〈帝国とジェンダー〉についてのあらたな視座とは？
帝国の周縁に置かれた人々 一獄中の人々、娼婦、炭鉱労働者、ハンセン病患者・回復者、地域の女性たちの
歴史的経験について再検証する。

2022年 12月7日 水

13:30~17:00 (開場・zoom入室可能時刻 ともに13:00)

参加費無料
要事前申込

会場：名古屋大学ジェンダー・リサーチ・ライブラリ2階 レクチャールーム
対面・オンラインのハイブリッド開催 (zoom利用)

※新型コロナウイルスの感染拡大状況によりオンラインのみの開催になる可能性があります

監獄と保護に関するジェンダー分析

長谷川和美 名古屋学院大学講師

帝国日本の多民族空間における性感染症問題と娼婦像

林 葉子 名古屋大学教授

戦時労働動員における民族とジェンダー—筑豊地方の中小炭鉱の動きから

徐 阿貴 福岡女子大学准教授

ハンセン病療養所における在日朝鮮人女性

金 貴粉 国立ハンセン病資料館学芸員

帝国の終焉と地域女性史の起源

ゲイル・カーティス・アンダーソン 早稲田大学教授

The End of Empire and the Origins of Local Women's History

コメンテーター： 町田奈緒士 名古屋大学特任助教
目黒 茜 名古屋大学GRL研究員

主催：「帝国とジェンダー」研究会

共催：JSPS科研費22K12655基盤研究(C)「帝国の人身売買問題と廃娼派キリスト教徒のグローバルなネットワーク」(研究代表者：林葉子)

JSPS科研費19K02134基盤研究(C)「炭鉱労働の編成における民族・ジェンダー・階級の相関に関する歴史社会学的研究」(研究代表者：徐阿貴)

本研究集会開催費の一部には名古屋大学GRLジェンダー研究集会助成金を充てています。

申込方法

下記のURLまたはQRコードからお申し込みください。

<https://ssl.form-mailer.jp/fms/370c2a7f761944>

参加費無料、要事前申込 定員：対面30名、オンライン100名

※定員に達し次第、受付終了します。

会場

〒464-8601

愛知県名古屋市千種区不老町

名古屋大学東山キャンパス

地下鉄名城線名古屋大学駅下車1番出口すぐ

お問合せ先：ジェンダー・リサーチ・ライブラリ

grrl@adm.nagoya-u.ac.jp

